

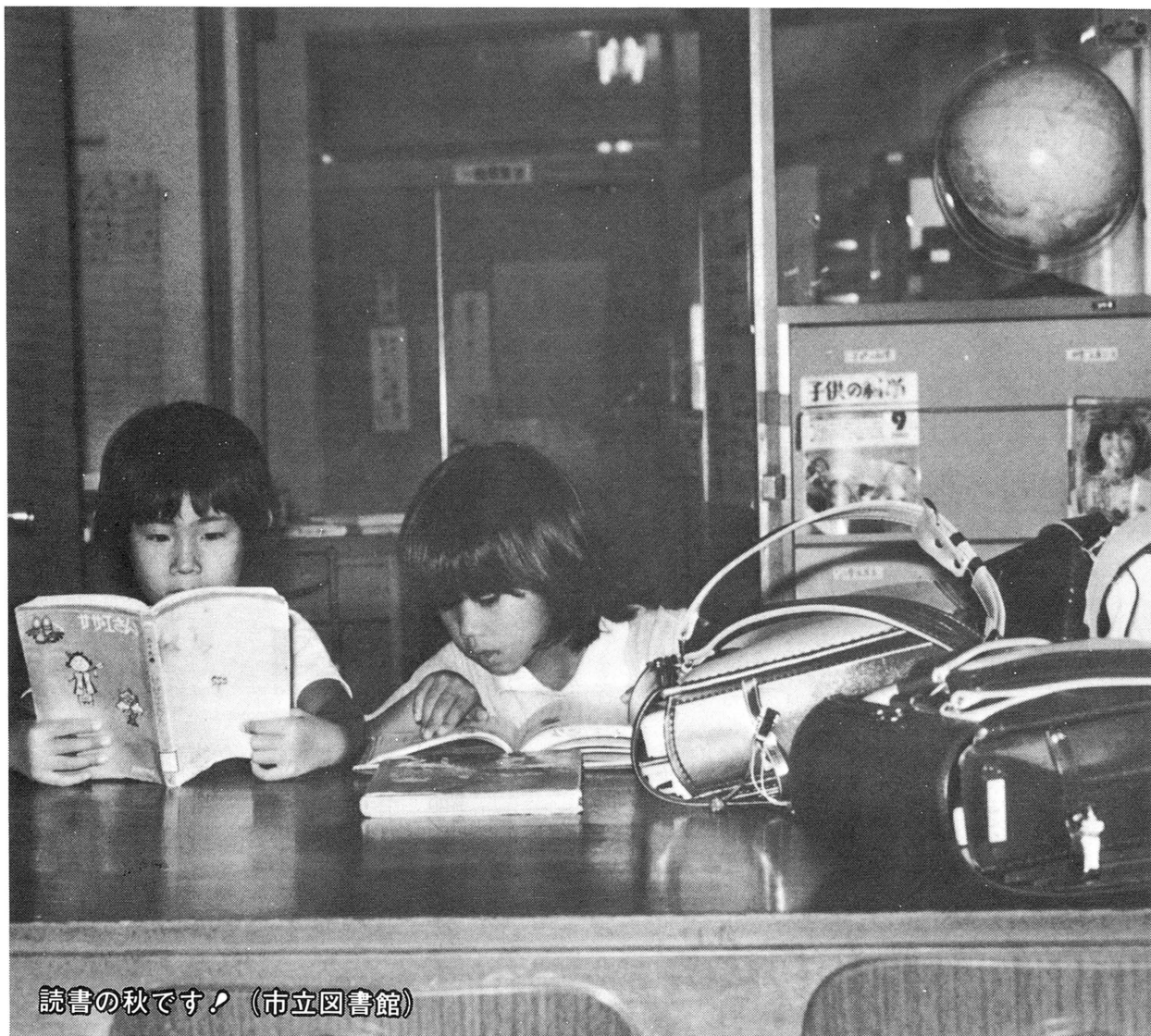
広報おおす

昭和55年

9月号

No.295

発行 大洲市役所 編集 市長公室



読書の秋です! (市立図書館)

市民のうごき

(昭和55年7月31日現在)

人口	39,094人	+24
男	18,634人	0
女	20,460人	+24
世帯数	11,818世帯	+4
面積	240.93平方キロメートル	

市民憲章

よい風習を育て、住みよい環境をつくる

○老人や子供、からだの不自由な人をいたわる。

○家の内外をきれいにし、気持ちよい環境をつくる。

10月の納税

市県民税

(3期)

国民健康保険税

(3期)

“生きがい”のある老後

九月十五日から一週間老人福祉週間

九月十五日は「敬老の日」。また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。

この機会に、これまで長年にわたって社会に貢献してこられたお年寄りのみなさんに感謝するとともに、長寿を心からお祝いしたいと思います。今こも今日までつちかかってこられた知識と経験を社会に役立てていただきたい

九月十五日は「敬老の日」。また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。

現在、わが国の六十五歳以上のお年寄りは約一千万人、総人口の八%を超えています。しかも、お年寄りの人口は、こんごもますます



自分の楽しみをみつけ出して、老後のいきがい、づくり。老人福祉センターでの碁碁大会。

増加し、昭和八十年には六十五歳以上の方が総人口の十五%を超えることが確実で、「高齢化社会」はかけ足でやって来ているのです。大洲市の六十五歳以上の老人人口の推移を見ますと、昭和四十五年が人口の一〇・九%（国勢調査）、昭和五十年が十二・二%（同）、昭和五十五年三月が十三・一%（住民基本台帳）と年々増加し、全国平均や県平均を上回っており、高齢化が進

「生きがい」づくりを

こうした中で、核家族化も進み、せっかく長くなった老後が、孤独で生きがいのないものだったら、その価値も半減してしまいます。お年寄りの「生きがい」とは何でしょうか。総理府の調査によりますと、トップは「息子や孫の成長」で三十二%、二位が「職業・仕事」で二十三%、趣味・娯楽」が十五%と続いており、「社会活動」をあげた人は、わずかに四%に過ぎません。そして問題なのは「生きがいを持たない」と答えた老人が二十九%もあるという事実です。「息子や孫の成長だけ」と「生きがいなし」を加えますと

実に六十一%にもなり、ここに受け身で孤独な、現代の老人像が浮び上がってくるのです。「何もしないで、ジツとしていてください」という言葉ぐらゐ、お年寄りにとって残酷な言葉はありません。のけ者にされないこと、つまり自分は役に立つ存在であるという自信と、自分のことは自分でやれるという気負いが、日々のお年寄りの心の張り、生

きるバネになっているのです。家庭では、お年寄りの役割り分担を考えましょう。それが、庭の掃除や、ちよつとした仕事でも、お年寄りは自分の役割りを通して、家族と接点を持ち、生きがいを見いだしていくのです。

大洲市でも老人福祉対策として、各種の施策を行っています。

老人福祉センターを中心に、老人の健康の保持・増進から疾病の予防まで

臨時議会開く（第一五七回）

長雨による災害復旧費など可決

緊急を要する議題審議のため、八月二十九日午前十時より第一五七回臨時市議会が開かれ、市長から提案された三議案を原案のとおり可決いたしました。可決された議案の内容は次のとおりです。

昭和五十五年度一般会計補正予算

この補正予算は、六月から降り続いた長雨により市内いたる所に災害が発生しましたが、これに対する復旧費として三十九件分七、二二五万円を計上したものです。

大成小学校校舎増改築工事の請負契約について

今年度の文教施設整備計画の一環と

の総合対策として、老人健康診査、老人健康相談、在宅老人家庭看護訪問指導、在宅老人機能回復訓練などきめ細かい施策を実施しています。さらに吟詠、民謡、舞踊、園芸などの趣味のクラブ活動も行われ、老人福祉センターは「生きがいを求める場」として、積極的に利用されています。

また、満七十歳以上の方の老人医療費の無料化、八十歳以上の方に高齢年金の支給なども実施しています。

して、大成小学校校舎を増改築します。鉄筋コンクリート三階建、一、五〇〇平方メートル、普通教室六室、特別教室六室、校長室、職員室などの施設内容です。建築費一億八、〇〇〇万円、村上工業（株）が施工することになりました。

森山簡易水道拡張工事の請負契約について

大川地区森山の簡易水道を成能本村志茂、杖ノ瀬、坊屋敷、東の一部、譲葉まで拡張するもので、この水道の利用者は四六〇名です。工事費九、八八〇万円（株）西田興産により施工されます。

この二つの工事も、来年三月上旬には完成の予定です。

いつまでも長生きしてください!

大洲の長寿者紹介



菊地 満保さん
 孫(七人)ひ孫(五人)計十二人のおじいちゃん。自分のことはすべて自分でし、毎日、散歩をかかしません。お茶と詩吟が楽しみです。



内田 カンさん

孫(7人)ひ孫(10人)やしやご(2人)計19人のおばあちゃん。テレビを見て、適度に食べ、体を動かすのが長生きのひけつです。

「昭和五十五年九月一日現在の市内の満九十歳以上のお年寄りは、つぎのみなさんです。
 市内の最高齢者は、徳森の内田カンさんで、明治十二年一月十二日生

- 一〇一歳 内田カン(徳森)
- 九十八歳 藤木ミチ(柚木)
- 和山中サワヨ(八)



藤木 ミチさん
 何でもおいしくいたただくのが、長生きのひけつです。本や新聞を読むことも楽しみます。

- 多喜
- 九十七歳 井上ミチル(田口) 菊地満保(阿蔵)
- 満田コトミ(市木)
- 九十六歳 石本梅吉(松尾) 吉田卯太郎(若宮)
- 稲葉ムメノ(新谷)
- 九十四歳 村田タマヨ(五郎) 岩本シカヨ(東)
- 宇山) 浮田サナエ(市木) 沖内フ
- ジェ(中村) 岩本猶吉(多田)
- 九十三歳 岩市トメヨ(田口) 川林ユク(市木)
- 保積亀太郎(菅田) 有友ムメカ(菅田)
- 田) 平熊二(大洲) 久保田トクエ
- (大洲) 新家ヤスノ(蔵川) 河内
- キク(大洲) 田中イシ(大洲) 大



井上ミチルさん
 風邪もひかないで、毎日元気に暮らしています。

- 塚ツ子ヨ(中村) 東ミチエ(徳森)
- 九十二歳 村上シカノ(春賀) 清水忠五郎(平地)
- 城戸利道(新谷) 山泉ミ子(大洲) 菅野興八郎(常磐町) 木下
- 重実(若宮) 谷田伊勢雄(上須戒)
- 川本ウタノ(中村) 五阿彌ラク(若宮)
- 大野チカ(宇津) 植木ユキエ(柚木) 村上アサヨ(菅田) 久保
- リキエ(柚木) 大野ラフジ(若宮)
- 九十一歳 藤枝キヨミ(西大洲) 二宮勇(菅田)
- 菊池キク(田口) 村上稔夫(菅田)
- 松岡ゴヒナ(菅田) 末光カメヨ(野佐)
- 長見ツルヨ(大洲) 沢井ミサ
- ラ(若宮) 新川ミノノ(蔵川)
- 谷本トラヨ(大洲) 村田サダ(阿蔵)
- 宮野チカエ(菅田) 清家アイノ(喜多山)
- 梶村フリエ(大洲) 岸野モ



満田コトミさん
 孫(七人)ひ孫(十六人)やしやご(二人)のおばあちゃん。歌を歌うことが楽しみで、毎日、規則正しい正活をしています。

- トエ(宇津) 本川オチヲ(上須戒)
- 村田トキ(西大洲) 萩森ミユキ(阿蔵)
- 矢野ツヤ(中村) 都築ミチヨ(米津)
- 九十歳 橋田キクヨ(大洲) 畑川キクヨ(森山)
- 保積イマ(中村) 緒方圓(田口)
- 袖岡スミ(新谷) 矢野数衛(菅田)
- 上岡シゲル(田口) 松岡政雄(上須戒)
- 成田大家恵(中村)
- 菊地安太郎(稲積) 村本普五郎(喜多山)
- 井上トラノ(野佐来) 中田
- 勘作(高山) 奥野ラキン(大竹)
- 山下ハツヨ(市木) 菊池ウシヨ(市木)
- 兼口コズエ(市木) 水本徳重郎
- (八多喜) 福本トミエ(新谷)
- 小西クリヨ(喜多山) 守野勇太郎(大洲)
- 谷村トラエ(田口) 檜田茂(五郎)

子供とお年寄りを守ろう

秋の全国交通安全運動 9月21日～9月30日



「マナーの実践」で、次の四項目を重点として運動が展開されます。

- ▼安全運転の確保、特に無謀運転の防止
- ▼歩行者、特に老人と子供の交通事故防止
- ▼自転車及び原動機付自転車の安全利用の促進
- ▼二輪車前照灯昼間点灯運動の推進

秋の行楽シーズンである九月・十月は、例年交通事故が多くなり、楽しい行楽も交通事故によって悲惨なものになってしまいます。今年も、交通事故による死亡者が増加ぎみで、六月末現在、四、〇五九人と、昨年同期に比べ二・三三入(二・四%)の増加、大洲市でも、八月五日現在三人と二人の増加となっています。

今年も、秋の全国交通安全運動が九月二十一日から九月三十日までの十日間実施されます。今年のテーマは「正しい交通ルールと

マナーの実践」で、次の四項目を重点として運動が展開されます。

▽変化する交通状況に対応できないケースが目立ちます。

お年寄りには家にいることが多いため、交通ルールをはじめ「交通環境」の変化を知る機会が少なく、また、老人の頭の中は、昔の記憶が大半を占め、交通量の多くなった現在の状況を実感と

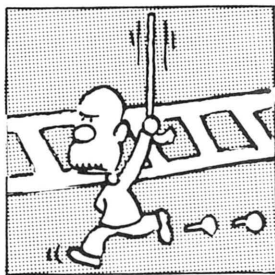
子供とお年寄りは、自動車の前では弱者、そのものです。交通弱者を事故から守るためには、ドライバーのみならず、お年寄りの人、子供と老人を保護するように努める必要があります。また、ドライバーのみならず、交通ルールについてのお年寄りの心理を心得ておくことも必要です。

昭和五十五年の上半期の大洲で発生した交通事故状況を見ますと、昨年同期に比べ、子供の事故が四件、お年寄りが五件とそれぞれ増加しています。

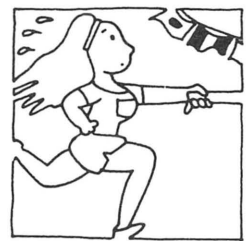
してつかみにくい心理状態にあります。▽体力や運動機能の衰えにもかかわらず、いつまでも若い気持ちでいることが多い。年をとると、当然、体力をはじめ運動・感覚機能が低下しますが、本人はまだ若いつもりであり、この意識と現実とのギャップが事故を招きやすくしています。

基本的な交通ルールも、断片的にしか知らないことが多く、たとえば「手を上げて道路を渡る」という言葉だけを聞いて、横断してはいけないところで実行してしまうようないことがあります。

お年寄りや、子供を見たら、心にブレーキをかけて、安全の確認をするようにしましょう。



参加しよう「市民運動会」 // 10月10日



小学生よりお年寄りまで男女をとわず、日頃鍛えた体力を発揮できるようパラエティにとんだ競技を用意しておりますので、一人でも多くの方の参加をお待ちしております。

スポーツの秋をむかえて、今年も「市民運動会」を「体育の日」の十月十日に総合運動公園で開催いたします。

- ▼日時 十月十日午前九時入場開始
雨天の場合は十月十二日、十月十九日に順延。
- ▼場所 総合運動公園 陸上競技場

大洲市体育指導委員会について

市民のスポーツ振興のために、実技指導やスポーツ活動の組織育成などに努力していただく大洲市体育指導委員は、次の方々です。

- 井川輝雄(中村) 山崎清幸(平野)
- 尾崎公一(長谷) 井上昭利(宇津)
- 栗田英武(成能) 石岡猶一(藤縄)
- 山中常義(新谷) 樋水重孝(春賀)
- 後藤幸憲(八多喜町) 小泉紘文(八多喜町)
- 田中一実(上須戒)

元永省吾(大洲) 谷本里美(大洲)
谷本俊一(中村) 藤田好之(中村)

消費生活の相談をどうぞ

通商産業省では、昭和五十五年七月から全国十か所に消費者相談室を設け、通産省関係の物資やサービスについての消費者の皆様が、消費生活の中で困っている問題についての相談や苦情にお答えしています。

スについての苦情などがありましたら、消費者相談室へお申し出ください。四国地区は次の所です。

- 四国通商産業局 消費者相談室
〒七六〇一九一 高松市番町二丁目 10-6
- 直通(0878) 61-3237
代表() 31-3141

計量器定期検査のお知らせ

月 日	時 間	場 所
10月13日	11時～12時	南久米連絡所
〃	13時～15時	平野 〃
10月14日	10時～12時	三善 〃
〃	13時～15時	菅田 〃
10月15日	10時～12時	柳沢 〃
〃	13時～14時	田処分館
10月16日	10時～15時	新谷連絡所
10月17日	10時～12時	大川 〃
〃	13時～14時	蔵川中学校
10月20日	10時30分～11時30分	上須戒連絡所
〃	13時～15時	八多喜 〃
10月21日	10時～15時	社会教育センター
10月22日	10時～16時	大洲市保健センター
10月23日	10時～16時	市 民 会 館
10月24日	10時～15時	〃

- 商品取引に使用される計量器は、すべて検査を受けてください。
- 「光電式はかり」をお持ちの方は、訪問検査を行いますので、前日までに商工観光課までお申し出ください。
- 家庭用ヘルスマーター、キッチンスケールは無料で検査します。

新・増築家屋の調査について 税務課

今年新築または、増築された家屋について、固定資産評価のために実地調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、滅失家屋（とりこわし）の調査も併せて行いますので該当家屋のある方はお早めにご連絡ください。

- ▼調査期間 昭和55年10月中旬より昭和56年1月中旬まで
- ▼調査対象 昭和55年1月2日以降に異動のあった家屋

詳しくは、市税務課固定資産係までお問い合わせください。

☎ 2111 (内線215)

同和教育シリーズ

水平社の結成

部落差別がますます深刻になる中で自由民権運動に刺激されて、部落の人々の自覚した解放への動きも盛んになってきました。

明治三十五年、岡山の三好伊平次らによって「備作平民会」がつけられて、「部落民の自覚により、部落民自身の手で解放する」ことが強くさげばれました。

明治三十六年には、「大日本同胞融和会」が結成され、部落の人々自身の立ち上がりによる運動が起こりました。しかし、これらは、融和・改善運動ともいうべきもので、差別の本質には目が向けられてはいませんでした。

ところが、大正七年に起きた米騒動を契機として、部落解放は、社会運動として発展していきました。

第一次世界大戦が終わると、不景気になって生活に苦しむ者がふえ、労働

争議・小作争議が激しくなりました。

このような世相の中で、社会的・経済的に差別されてきた部落の人々たちの中から、自分たちの力で人間としての平等や経済上・職業上の自由をかちとろうと、大正十一年、全国から代表者が京都市に集まり、全国水平社創立大会を開きました。

全国各地の部落から集まってきた人々

は、「解放か、しからずんば死を与えよ」などと書いたのぼりをかかげて、岡崎公会堂をめざしました。広い会場にぎっしりと人が入り、はじめに、この大会が生まれるまでの経過が報告され、綱領・宣誓が読みあげられ、決議

がなされました。宣言には、「長い間いじめられてきたきようだいよ」と呼びかけ、部落の人々みずからが解放に立ち上がらなければならないことを、差別と迫害の中にあつても、人間の血はかれずにあつたことを、ぎせい者が烙印を投げ返すときがきたことを訴え、「人の世に熟あれ、人間に光あれ」とむすんでいます。

会場の人々は、差別へのいかりと、そこから共に立ち上がろうとする感激に、みな泣きました。部落の人々が、団結して解放に立ちむかう出発だったのです。

つづく



パパにママ ボクも書いたね国勢調査

国勢調査

昭和55年10月1日(水)

10月1日、全国いっせいに第13回国勢調査が実施されます。

9月24日から30日までの間に、調査員が皆さんの自宅に調査票を配りに伺いますので、もれなく記入して下さるようお願いいたします。取り集め期間は10月1日から5日までです。

調査の結果は、国や都道府県などの政治や行政の資料として、福祉対策、雇用対策、住宅建設計画など、皆さんの明るい暮しと住みよい環境づくりのために幅広く利用されます。



大洲喜多特別養護老人ホームとみす寮では、九月一日に入所者の長寿を祝福して開設九周年の記念式典を行いました。

式には、近田市長、小泉市議会議長

長寿を祝い九周年

〜とみす寮〜

など関係者多数が出席して、入所者の長寿を激励祝福しました。式の模様は今年、松森氏より寄贈されたビデオカメラにより各室に実況中継され、式に出席できないお年寄りから大変喜ばれていました。

- ◆健康長寿表彰 緒方圓
- ◆感謝状贈呈 松本アイノ 政所義之
- ◆模範老人表彰 大塚イシヨ 小中ノブエ

また、九周年を記念して、模範老人健康長寿老人などの表彰を行いました。

式の後、大洲民踊クラブの方々が、各室に踊りの訪問を行い、お年寄りの長寿と健康を祝いました。

市民のひろば

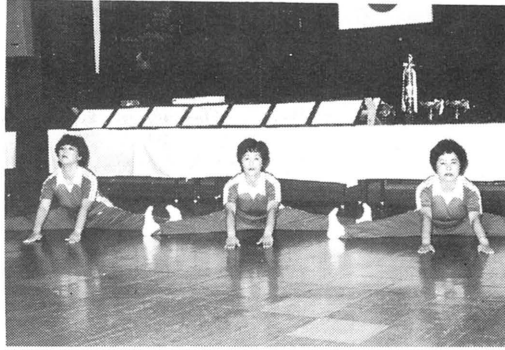


お父さん出番です！



「父親の出番です」通信講座のスクーリング(集団学習)が、九月七日(日曜日)午前九時から中央公民館で行われました。

変貌の激しい社会の中で青少年を健全に育成するためには、家庭教育の重要性なかでも父親の果たすべき役割が大きく、その大切さが見直されています。この講座は、特に中学生の父親の出番の重要性から「集める社会教育」から「家庭に届ける社会教育」として開設し、年に六回テキストを送り、それについて家庭で



肱北・渡辺さん優勝！ 生命の貯蓄体操全国大会

8月31日の祝賀会で模範演技をする肱北チーム

八月二十四日、愛媛県民館で行われた第三回生命の貯蓄体操競技全国大会において、肱北チーム、渡辺久子さんが見事全国一の榮譽に輝いたほか、次の方々が入賞されました。

この生命の貯蓄体操は、予防医学的な健康体操として体力づくりにあわせて、日本人としての精神の育成と人格の向上を図ることを目的としたものです。大洲においても、老人福祉センターなどを中心に、二、〇〇〇人余

の人が行っています。

- ◆優勝 要の体操団体操 肱北チーム(中野孝子・森内勝子、米沢英子、佐々木いちこ) 矢野浅江、補・山本美子 監督・石川和子
- ◆準優勝 自強術体操個人戦(五十歳未満の部) 渡辺久子
- ◆第四位(敢闘賞) 自強術体操個人戦(五十歳以上の部) 赤坂繁樹

考えスクーリングで話し合い、父親は何かあるべきかを模索することを目的としています。

当日は、市内の中学二年生の父親百名と関係者三十名が出席して、本会のおと分散会に別れて、それぞれ家庭で考えていることや父親のあり方について報告討議し、伊予三島市児童館館長の幸田貫一先生の「おやじの出番はいつどこで」と題した講演を聞き、これからの父親の役割の重要性を考え、家庭で期待される父親になるべく学習をしました。



33年ぶりに開花 (竜舌蘭)

長谷の竹本長重さん方の庭の竜舌蘭が、今年の夏、三十二年ぶりに開花しました。
 竜舌蘭はメキシコ原産で、別名セソチリフラーワー(二世紀の花の意味)といわれていますが、実際には環境がよければ、千年位で開花します。竹本さん方の場合、条件が良く三十二年目に開花しました。

幕末の先覚者展

大洲市立博物館

博物館では、只今第九次展として、幕末・維新の先覚者展を開いています。勤皇が佐幕か、攘夷か開国か、幕末動乱の時に、大洲藩・新谷藩をして進むべき道を誤らしめなかつた先覚者の中から、十二名を選びました。この人達の思想を培ったものは何か、この人



いもたき始まる

いもたきは藩政時代から受けつがれて来た、大洲独自の秋の風物詩です。大洲には、春秋二回お籠(こも)りという地区住民の寄り合いの行事がありました。秋のお籠りは、脇川の河原へ各農家から収穫した夏いもを持ち寄り、奥さんたちが川で洗って炊き、その間、主人たちは色々な相談ごとをし、いもがほどよく炊きあがった頃には、話はまとまり、老いも若きも集まって一つの鍋を開んで名月を見ながら楽しいひとときを過ごすという素朴な親睦融和の行事でした。

これを昭和四十一年から、秋の観光行事として大洲の名物に加えたものです。

市民のこえ

蛇の目紋について

「問い」大洲市紋として「蛇の目紋」を使用していますが、どういう理由からですか。

(一市民)

【答え】大洲市文化財保護委員の森本定満さんに次のようにお答えをいただきました。

市紋の蛇の目紋は、もともと大洲藩の藩主加藤氏の家紋に因ったものです。加藤氏の家紋は「蛇の目」を定紋としほかに「上り藤」もありますが、加藤氏の旗・馬じるし・幕・衣服・器具・建物等に記して、加藤家のシンボルとしました。

から「蛇の目紋」といわれるようになりました。尚武的意義にもづく紋章です。江戸時代この紋章を用いた大名は、加藤家のほか細川、戸田、松平、石川、京極などの諸侯がいます。

加藤家の蛇の目紋は、外円の直径が内円の直径の三倍になっているのが正しい形です。新谷藩も蛇の目紋を用いましたが、分家である故に少し形を変え、内円の直径を大きくとり、輪の肉をやや薄くしています。

蛇の目紋の起りは定かではありませんが、弓の弦(つる)を巻きつけた弦巻を形どったもので、「つるまきもん」または「妙竹輪紋」と呼ばれていました。また「戦国時代、蛇の眼に似ているところ

紋章の歴史は古く、公家から発生し武家時代に発展し、およそ五千種以上あり、その内使われているものが三百種といわれています。

大洲市で使われている市の紋章は、国旗目の丸のように形が簡素で、円(輪)が「利」に通じ、円満の相を表わす意義深いものです。

達は何をしたのか。多くの資料と遺品が私達に語りかけてくれます。

珍しいものでは、今回はじめて展示された常磐井厳才が勉強したオランダ語の文、孝明天皇が日常使用された器類、皇女和宮愛用の鏡、宣軍が肩につけた錦帛、武田敬孝・成章兄弟の絵と

書の寄せ書「白滝に題す」などがあります。又、香渡晋の家訓、悲運に泣いた熱血漢東内式部の遺品、古学堂でのカリキュラム、藩主加藤泰秋、泰令に関するものなど、併せて八人展を展示しています。

この展示は十一月二十八日までです。

新刊図書案内 図書館

朝日新聞記者の証言1 朝日ソノラマ
ただの人となれ 光永澄道著
日本人の日本しらず Pミルワード著
長安から河西回廊へ 陳舜臣著
リーダーシップ O・ティード著
この母に学ぶ 井深 大編
西洋リビング拝見 崎山小夜子著
天候とからだ J・ファスト著
やせたい人は食べなさい鈴木その子著
クッキングロレッタ 小学館
園芸大百科事典(3・6)講談社
裸の大將放浪記全4巻 山下 清著
土門拳 アサヒカメラ編
世界陶磁全集7 小学館

名匠の棋跡 おかあさん おとうさん
きき方の理論 齋藤美津子著
川端康成・隠された真実 三枝康高著
歌の王朝 竹西寛子著
オリンポスの娘 畑山 博著
黒革の手帖(上・下) 松本清張著
ママとパパの戦場 広瀬仁紀著
山茶花は見た 平岩弓枝著
侍 遠藤周作著
女の男性論 大庭みな子著
眠る盃 向田邦子著
地下を放して 中井英夫著
飛鳥へ、そしてまた見ぬ子へ 井村和清著

クレイマー・クレイマーAコーマン著



限りある資源 水を大切に

水道の故障は次の水道組合へ (日曜・祭日漏水修理)

当番日	修理にあたる業者	連絡先
10月5日	淳山水道工事店	☎4-2583
10月10日	猪野水道工事店	☎3-2813 4-2216
10月12日	大塚鉄工所	☎5-0300
10月19日	岡福水道工事店	☎4-3656
10月26日	奥田水道商会	☎4-3674 5-4107
11月2日	神田鉄工所	☎3-3004 4-2412
11月3日	佐藤水道店	☎3-2645 4-2410

相談(こと)

案内

次のとおり無料相談をしています。
お気軽にご利用ください。

▼交通事故相談日
10月8日 10時～16時
10月20日

▼人権相談日
10月20日 13時～16時

▼心配ごと相談日
10月1日 13時～16時
10月13日
10月27日

▼家庭児童相談日
10月14日 10時～16時

▼不動産相談日
10月15日 9時～16時

▼交通事相相談日
10月8日 10時～16時
10月20日

▼人権相談日
10月20日 13時～16時

▼心配ごと相談日
10月1日 13時～16時
10月13日
10月27日

▼家庭児童相談日
10月14日 10時～16時

▼不動産相談日
10月15日 9時～16時

▼交通事故相談日
10月8日 10時～16時
10月20日

▼人権相談日
10月20日 13時～16時

▼心配ごと相談日
10月1日 13時～16時
10月13日
10月27日

▼家庭児童相談日
10月14日 10時～16時

▼不動産相談日
10月15日 9時～16時

▼交通事故相談日
10月8日 10時～16時
10月20日

▼人権相談日
10月20日 13時～16時

▼心配ごと相談日
10月1日 13時～16時
10月13日
10月27日

▼家庭児童相談日
10月14日 10時～16時

▼不動産相談日
10月15日 9時～16時

▼交通事故相談日
10月8日 10時～16時
10月20日

▼人権相談日
10月20日 13時～16時

▼心配ごと相談日
10月1日 13時～16時
10月13日
10月27日

▼家庭児童相談日
10月14日 10時～16時

▼不動産相談日
10月15日 9時～16時

▼交通事故相談日
10月8日 10時～16時
10月20日

▼人権相談日
10月20日 13時～16時

▼心配ごと相談日
10月1日 13時～16時
10月13日
10月27日

▼家庭児童相談日
10月14日 10時～16時

行政相談週間

10月12日～18日

行政管理庁では、行政相談制度を広く国民の皆様にご活用いただくため、毎年秋「行政相談週間」を設け、各種の行事を実施しています。
本年は10月12日から18日までが、この行政相談週間になります。
この週間に、今月の行政相談を実施しますのでご利用ください。
環境保全、公害防止、道路・河川の維持管理、労働災害、各種年金、保険郵便、遺族援護、許認可等役所の仕事についての苦情や悩みごとを持つてお困りの方は遠慮なく相談においでください。

まじこころの おくりもの



金一封 西大洲 中田 亀久夫
金一封 菅田町 尾崎 重則
金一封 黒木 松原 正一
金一封 北只 高橋 タミ子
金一封(原稿の謝礼金)
中村 魚谷 年子
金一封(寄付金として)
徳森 塚 本康

(指定配分)

金一封(菅田喜楽会、菅田小学校、
脇東中学校と市社協へ)
菅田町 大野 忠直

以上、社会福祉事業のため、預託していただきありがとうございました。
大洲市社会福祉協議会

※訂正

八月号三ページ「脳卒中特別対策事業検診」中、検診対象者は四十歳から六十九歳に訂正します。また、四ページ「昭和五十四年度大洲市の財政」中歳出は76億3,771万円に訂正しておわびいたします。

休日急患診療

10月5日 大洲中央病院 ☎44551
10月10日
10月12日
10月19日
10月26日

乳幼児健康診査

実施日 該当者
10月7日 昭和55年7月生 ※
10月9日 54年4月生 ※
10月14日 55年3月生 ※
10月21日 54年10月生 ※
10月28日 52年10月生 ※
※は眩南・眩北地区のみ
受付場所 13時30分～14時30分
実施場所 大洲市保健センター